

豪雨災害から市民の命を守るために 川口ともこ議員の一般質問



ゲリラ豪雨が頻発しています。川口議員は、千葉豪雨の被害にふれ、市のアンダーパスの安全対策について、冠水表示板や監視カメラの増設、冠水で通行止め箇所をカーナビや公式LINEで周知、野田町のアンダーパスに排水ポンプの設置などを求めました。レベル5の大雨特別警報が発表された時には、車で移動せず安全な場所で待機すること、避難は警戒レベル4の避難指示までに行動することが大事になります。また、令和4年度全戸配布した水害ハザードマップの**内水ハザードマップが古いので新しくすべき**と聞くと、市長も「新しくしていきたい」と応じました。

市民が利用しやすい公共施設へ この英子議員の一般質問



市内には、公民館やウエスタ川越など多くの公共施設があり、ハード面・ソフト面ともに充実していくことが重要です。今年度から公共施設予約システムも新しくなり、市民からの声や効果などについて確認しました。市民から公民館や文化施設でのWi-Fi整備の要望が多いことから導入状況やウエスタ川越の駐車場を利用する障害者への配慮、照明のLED化などについて求めました。

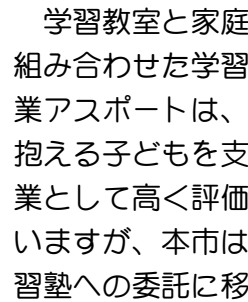
公民館へのWi-Fi導入など市民が利用しやすい公共施設になるよう予算措置も含め市の考えを聞くと、市長は「適切な維持管理をおこない、市民の皆様が利用しやすい施設となるよう努める」と答えました。

本人の人権が尊重される社会へ 池浜あけみ議員の一般質問



精神保健医療福祉と地域支援を考える「ヨハクフォーラム」で、精神病棟の医師や看護師不足、身体拘束や向精神薬の過度な処方当事者の心身を強く抑圧していることを知りました。また、ひきこもり当事者や家族の会では、障害者手帳をもらうために医者診断書が必要で、その際飲み始める薬のリスクや、就業支援の不十分さが訴えられます。池浜議員が支援の現場で本人の意思や人権を尊重するよう促すと、市は、本人の意思や希望に添い必要な支援に結び、安心して暮らせる地域共生社会の実現へ取り組むと答えました。

貧困の連鎖とめる伴走型支援を かきた有一議員の一般質問



学習教室と家庭訪問を組み合わせた学習支援事業アスポートは、困難を抱える子どもを支える事業として高く評価されていますが、本市は大手学習塾への委託に移されています。子どもが抱える困難は複雑化し、教育現場ではスクールカウンセラー等を配置し、他部局とも連携しています。福祉的なケアを行う体制に改善するよう求めました。

川越シャトル・かわまるの増便求める

川越シャトルは便数が減り不便になり、デマンド型交通は利用者が増え予約が取れません。免許返納を促す施策も行われており、公共交通の拡充が必要と訴えました。

日本共産党 かきた有一



生活相談はふれあい事務所（霞ヶ関北3-1-5）メール：mail@kakita.acまで HP：<http://kakita.site>

雨空ばかりながめていた9月も過ぎ、さわやかな秋晴れも見え、ほっとしています。

夏から秋にかけては平和の取り組みや地域の催しも多く、実りの多い期間でした。

9月議会では、求めていた農業機械の修繕費が補正予算で増額されました。農業の維持は大変ですが、少しでも足しになればと思います。



学習支援の改善を求めました

貧困の連鎖を止めるのに最も効果があるのは教育です。しかし、学習塾への依存や偏差値と競争を繰り返すなら本末転倒です。埼玉県が行うアスポート事業はメディアでも注目されています。国の生活保護引き下げや、福祉分野への冷たい対応を見れば見るほど、あらためて光を当てねばと力がこもる質問でした。森田市長も

シャトル・デマンド交通の増便を

改善の必要性は認識したと思います。

公共交通の改善を願う声は多く、地域で開いた懇談会でも出されていました。シャトルバスは利用の多い時間に空白があり使いにくく、デ

市政こんだん会
11月22日(日) 16:00～18:00
南公民館 講座室2号
(ウエスタ川越1階)
どうぞ意見ご要望をお寄せください

マンド型交通は、利用者が増えて予約が取れなくなっています。便数を増やすよう求めました。

市の決算や財政状況

令和7年度の決算質疑をおこなうなかで、市の財政状況をグラフにして示しました。

市が公表する図表は前年度との比較や、5年程度の比較が多いですが、少し長い期間で推移を追うと見え方も変わります。

市民のニーズは多様で、行政はいつも財政が厳しいと言いますが、ここ数年は黒字額も大きく、市債の返済も堅調で、健全財政と言えます。市民生活のために積極的な施策が求められます。

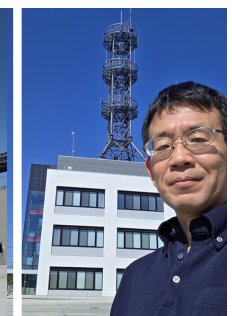
議会で使用した資料はホームページで見られるようにしていますので、ご覧ください。

訓練塔・防災学習館が完成

新消防庁舎と訓練塔が完成しました。10月から、防災減災に関する展示・体験ができる防災学習館がオープンしています。

平成27年に消防組合議会に設置した特別委員会は、今回の議会で審査を終了。11年つとめた委員長職もここで役目を終えました。事業に関わった全ての方々に心より感謝申し上げます。

各地で地震、水害をはじめとした大規模災害が相次ぎ、新型コロナも含めて災害への対応が求められた時期でもありました。守りの要として、役割を果たすよう願っています。



川越地区消防組合Youtubeで
新庁舎を紹介しています



令和7年度一般会計決算

令和7年度一般会計決算は実質収支が75億6千万円で、前年に続き大幅黒字となりました。個人市民税が伸びましたが、定額減税の縮小と課税対象の拡大も含まれ、賃金の伸びは物価高に追いついていません。法人市民税はそれほど増えておらず、中小企業の経営が苦しい実情が伺えます。

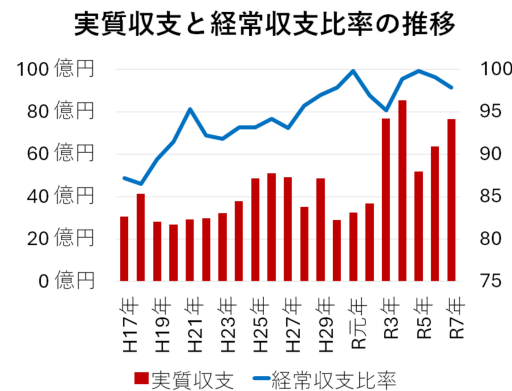
財政規模は10年前の1096億円から1467億円と増加、新型コロナや物価高騰による国庫支出金と、10%に引き上げられた消費税への依存が強まっています。

行財政改革アクションプランでは市の単独事業の削減が進められました。結果として、障害者施策をはじめ川越市が積み上げた福祉

が後退しています。監査委員の意見でも「歳出削減には限度がある」と指摘されています。生活保護では国の保護費削減が司法で断罪され、減らした分を返す事態になっています。窓口での冷たい対応に批判の声も多く、行政による困窮者差別が問われています。

経常収支比率は97.9%に改善し、財政調整基金も57億円まで増え、黒字の財源で市民生活への施策をどう行おうかが問われています。

多様化する市民ニーズに対応して業務委託が10年前の1891件から2281件へと増加。今後は公共施設の老朽化対策も増えることから、技術職を含めた専門知識を持つ職員の育成も重要になっています。そのほか、災害対策や農業施策などについても質しました。



9月補正予算

補正予算総額は約10億8千万円でした。市民、事業者が物価高騰や中東情勢の影響を受けるなかで、国からの物価高騰対応地方創生臨時交付金が9600万円とあまりに少なく、昨年12月補正では同交付金が22億円でした。市は一般財源を活用するなどして総額約1億7千万円の物価高騰対策事業を組みましたが、2月にはイラン攻撃への影響を受け、原材料や食料品などが更に高騰しています。国の抜本対策はもとより、市としても残る23億円の決算剰余金活用で市民の暮らしを支援すべきと指摘しました。

①物価高騰対策

- 農業機械修繕支援補助金の増額（11月以降）
- 高齢者施設・障害者施設・保育所等へのLPガス高騰対策
- 医療機関等の物価高騰対策
- 運送事業者事業継続支援
- 学校給食食材費高騰対策
- 防犯カメラ設置補助金の増額



②施設保全

- 総合体育館の柔道畳、新体操マット購入
- 学校、都市公園、児童遊園、川越運動公園の樹木の維持管理
- 小中学校の施設修繕●保育所の修繕
- 道路等維持補修の増額

学童保育料値上げ・2人目憩う半額

川越市学童保育室条例の一部改正は、開室時間を現状の午後6時30分までを午後7時まで延長、保育料は現在8000円ですが、令和9年度は据え置き、10年度9000円、11年度に1万円に段階的に引き上げます。また、多子世帯への負担軽減として、2人目以降を2分の1負担にするためシステム改修等が必要になることから、保育料の改定と併せて令和10年度4月から開始する予定です。



テニスコート・PiKOAなど使用料改定へ

設置から半世紀を越し、使用料が30年以上据え置かれているスポーツ施設などがあります。平成30年に「使用料・手数料設定の基本方針」を定め検討するもコロナ禍により見送られていました。

必需性が低く、民間でも提供している施設として芳野台・御伊勢塚公園などの4テニスコート、PiKOA、川越総合体育館を来年4月より料金改定。増収分は、設備の修繕や備品の購入に使われる予定です。



9月議会の経過

9月市議会は9月29日から30日間開かれ、市長提出議案27件と、追加提出された人事案7件を可決しました。

日本共産党は令和7年度一般会計決算、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険の3特別会計決算と令和8年度介護保険事業補正予算の5議案に反対。令和7年度一般会計決算にかきた有一議員が反対討論。その他の議案には賛成しました。

議会改革の一環で、委員会で賛否が分かれた5議案に電子採決が導入されました。各議員の賛否と賛成反対の数が明確になります。

公選法に抵触疑い・説明を求める決議が可決

市内の葬儀に小林透議員の氏名が記された供花が出されたとして、公職選挙法に抵触が疑われ、同氏に説明を求める決議が議員提案されました。初雁自由政令会8人と伊藤正子、川口啓介、村山博紀の無所属3議員が退席、反対はなく可決しました。

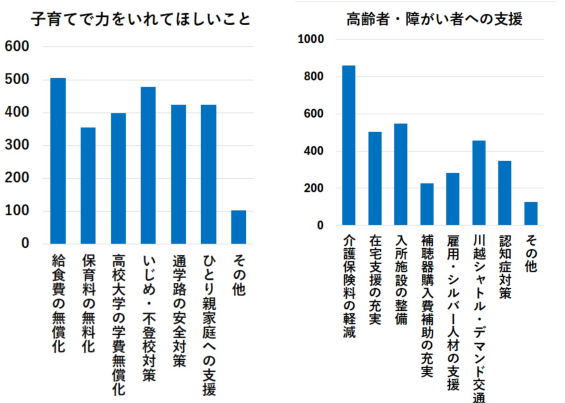
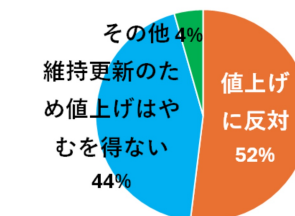


市民アンケート結果報告

市民アンケートへのご協力ありがとうございました。WEBと郵送で、合計1572件の回答が寄せられました。

回答の詳細は議員団のホームページに掲載しています。

水道・下水道料金の値上げについてどう思いますか



日本共産党議員団 市議会報告

発行：川越市議会議員団 TEL224-8811

連絡先：市役所内日本共産党控室

